

暮らしの

拠点にすると

出水って便利な

ところなんです。

出水市

2019年に福岡県よりUターン

池田 高康さん

1987年生まれ。鹿児島県出水郡長島町出身。奥様は出水市出身。家を建てる際に、奥様の実家の近くを選択しました。取材時（2021年2月）の勤務地は福岡県にあり、平日は単身赴任。週末は出水で家族と過ごしています。

### 家を建てるなら、故郷の鹿児島に

そろそろ家族の拠点が欲しいと思い、出水市に家を建てる選択をしました。ずっと県外で仕事をしてきましたが、ゆくゆくは鹿児島に戻るようになります。また、子供のびのびとした環境で育てたいという思いもありました。それなら、故郷を拠点にしようと決断したのです。

私の勤め先は全国的に展開している企業ですが、その九州エリアに配属されています。転勤があっても、九州内で動くことになります。そういう状況も踏まえて、出水市は拠点とするにはいい場所でした。新幹線を使えば、福岡へも熊本へも鹿児島へもすぐに行けます。高速道路のアクセスも良好です。南九州西回り自動車道の整備も進んでいて、車での移動もしやすくなってきています。

### 出水に住んでみると、いいことがいろいろ

移住してから、出水と福岡を行き来する生活が続いています。「大変でしょ」と言われることも少なくありませんが、あまり負担には感じていません。それよりも、メリットを感じるもののほうが多いです。

ひとつは親が近くにいる、ということ。妻の実家はすぐ近くですし、私の実家もそれほど遠くありません。私たち家族と実家のほうと、お互いに様子がわかるので安心感があります。それから、子育てをしていく中で、じいちゃん・ばあちゃんの存在は大きいのです。ちょっと子供を見てほしいときに頼めますし、かなり助けられています。

住まいの質が上がる、というメリットもあります。同じ予算でも、都会と田舎では建てられる家にかかなりの違いが

出ます。出水は土地代が安いので、敷地を広くとれ、さらに建物にもお金をかけられます。加えて、出水市の定住促進の補助金も受けられました。

### 故郷の良さにあらためて気づかされた

福岡勤務の前に、東京で仕事をした経験もあります。Uターンしてみて故郷の良さを再確認できました。こちらは人があたたかいと感じます。都会のドライな人間関係よりも、田舎の親密な人間関係のほうが私は好きです。ほかにも食べ物美味しいとか、自然環境が良いとか、治安が良いとか、挙げていくときりがありません。

鹿児島にも営業所があるので、異動願いを出しています。会社も要望を受け入れてくれそうです。これが実現すると、家族といっしょに過ごせる時間を増やせます。

